

# 今後の収支予測

- 平成25年度は、本場収益に関しては、自場及び他場は全国傾向と同様に下落が続いているものの、今年度から通年発売となったIPATを含む在宅投票は大きく伸びている。また、業務協力金に関しては、JRAのGI競走を発売したことにより、他の地方競馬の場外発売に係る売上減を一定程度カバーしている。この結果、歳入全体では昨年度を上回り、単年度収支はJBC競走分を除いて50百万円の黒字となる見込みである。
- 平成26年度については、自場及び他場収益は引き続き減少するものの、IPATを含む在宅収益は今後も一定の伸びが見込まれる。また、JRAのGI競走に加え、GII、GIIIにも発売を拡大して収益確保を図ることとしており、平成25年度並みの歳入が確保される見通しであり、賞金・手当等を増額しても収支均衡が図られる。
- 今後、他の地方競馬場の廃止が具体化した場合等、金沢競馬の経営環境に影響を及ぼすことも想定されることから、毎年、次年度の実施について検証する必要がある。

(単位：百万円)

項目			H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	備考		
収支影響額	歳入	①本場収益	見込額 ①	1,463	1,563	1,547	1,541		
			内訳	自場収益	931	871	810	753	売得額×24% 7%ダウン (H24→H25増減率)
				他場収益	263	260	250	240	売得額×9% 4%ダウン (H24→H25増減率 [全国])
				在宅収益	260	336	380	429	売得額×11% 13%アップ (H24→H25増減率 [全国])
		IPAT収益	9	96	107	119	売得額×12% 11%アップ (H24→H25増減率 [全国])		
	②場外発売業務協力金	見込額 ②	619	605	626	629			
		内訳	地方競馬	619	573	556	539	3%ダウン (H23→H25平均増減率)	
	JRA		0	32	70	90	GI競走に加え、GII、GIII競走を発売		
	小計		見込額 ③=①+②	2,082	2,168	2,173	2,170		
	歳出	③大規模施設改修費	見込額 ③	81	129	129	129	H29まで9億円 (年平均129百万円)	
④開催経費 (売得額連動経費を除く)		見込額 ④	1,965	1,989	2,039	2,039	賞金・手当等の増 (50百万円)		
小計		見込額 ④=③+④	2,046	2,118	2,168	2,168			
単年度収支			③-④	36	50	5	2		
			JBC分(外数)→		6				

年度当初基金残高	A	2,429	2,465	2,521	2,526
単年度収支	B	36	56	5	2
年度末基金残高	C = A + B	2,465	2,521	2,526	2,528

廃止した場合の必要経費	リース残高	D		45	32	23
	廃止協力金等	E	最大	1,200	1,200	1,200
最小			600	600	600	
合計		F = D + E	最大	1,245	1,232	1,223
			最小	645	632	623

差引基金残高	C - F	最小	1,276	1,294	1,305
		最大	1,876	1,894	1,905